

### 3. これまでの駅前広場に関する検討経緯

#### (1) 検討経緯

年度	調査・計画	目的	駅前広場関連の検討内容（概要）
H12 (2000)	JR 松山駅周辺地区再生計画	鉄道の連続立体交差事業に伴う駅周辺地区の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等整備方針</li> <li>鉄道の連続立体交差事業と一体的に行われる面的整備事業の中で、整備を図る（東口広場の再整備と西口広場の新設）</li> <li>地区整備手法の検討</li> </ul>
H12~13 (2000~2001)	松山まちづくり交通計画調査	松山市中心部の交通計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>前提条件：西口広場の新設、路面電車の駅前広場への引込、環境空間の確保</li> <li>駅前広場の位置（南側拡張）</li> <li>東口、西口での駅前広場の機能分担（東西駅前広場機能分担イメージ図）</li> <li>路面電車の引き込み方</li> </ul>
H14 (2002)	松山駅周辺公共空間検討調査	都市計画決定に向けた計画案の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場（必要規模、機能配置等）→東口約 15,700 m<sup>2</sup>、西口 3,400 m<sup>2</sup></li> <li>幹線道路計画</li> </ul>
H16 (2004)	連続立体交差事業新規着工準備採択		
H16 (2004)	松山市路面電車活用計画	まちづくりと連携した路面電車の活用を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車延伸計画</li> <li>交通結節点計画（引込ルート案）</li> </ul>
H17 (2005)	松山駅周辺交通結節点整備計画	路面電車活用計画の技術的検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場への路面電車引込ルート 3 案</li> </ul>
H19 (2007) (H20. 2)	松山広域都市計画決定 (JR 松山駅付近連続立体交差事業、松山駅周辺土地区画整理事業、関連街路事業) ※P2 松山駅前広場（平成 20 年都市計画決定内容）参照		
H20~ (2008~)	事業着手		
H24~ (2012~)	松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会	事業に関する連絡調整や、まちづくりに関する計画等について協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりガイドラインの策定</li> <li>駅前広場への路面電車引込みルート最適案</li> <li>※P13 松山駅前広場への路面電車引込方針参照</li> </ul>



松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会 開催状況

H12年度 JR 松山駅周辺地区再生調査報告書(抜粋)

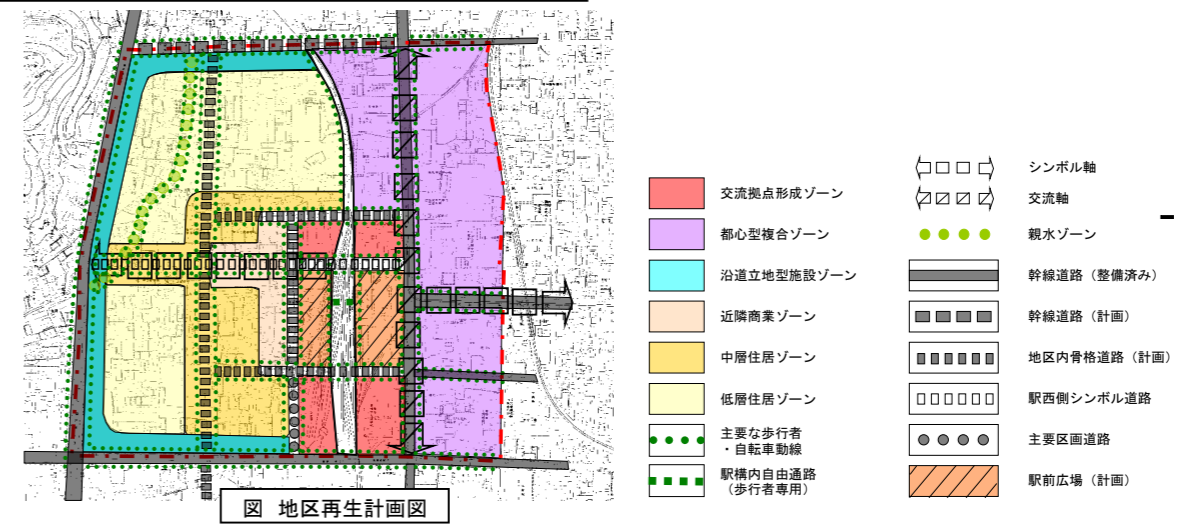


図 地区再生計画図

H12~13年度まちづくり交通計画調査報告書(抜粋)

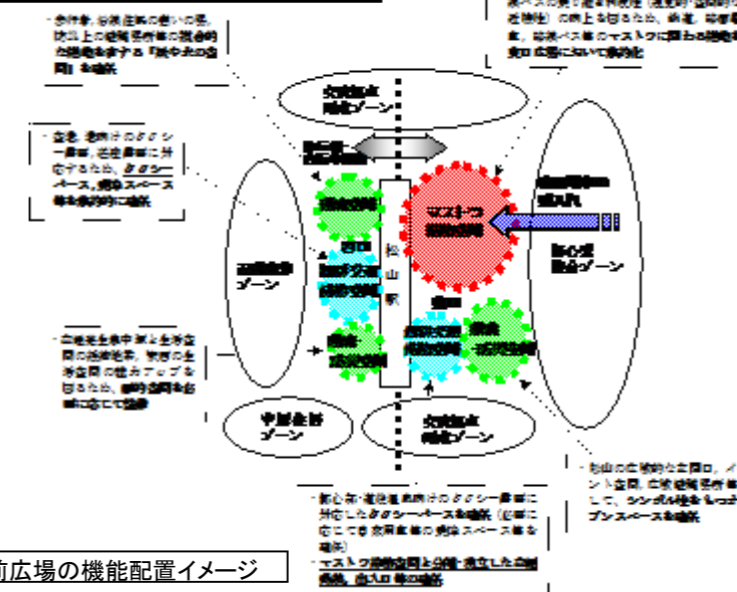


図 駅前広場の機能配置イメージ

H14年度公共空間検討調査報告書(抜粋)

施設導入基本方針の設定  
(過年度調査の提言により)

- 【駅前広場に求められる機能】**
  - 県都の玄関にふさわしい拠点性、機能性
  - 「松山の顔」としての風情の演出
  - 公共交通同士への乗り継ぎ利便性向上
  - 自動車交通と公共交通の乗り継ぎ利便性向上
  - 公共交通の利便性の高いエリアの拡大
- 【交通空間】**
  - JRと路面電車及びバス、タクシー相互の乗り継ぎ利便性の向上を図る。
  - 施設規模は通行以上を確保するものとし、可能な限りゆとりを確保する。
  - 施設の配置は利用者の利便性を重視し、バスについては機能的なバースの配置（通行の方向別バースの継ぎ）を行う。
- 【環境空間】**
  - 駅前広場の機能として必要歩行者空間に加えて、県都にふさわしい拠点性や「松山の顔」を演出するための空間を確保する。（環境空間比=0.5以上を確保する。）

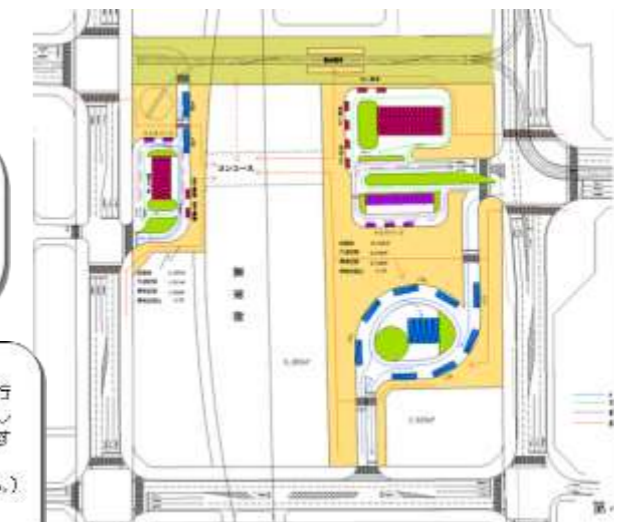


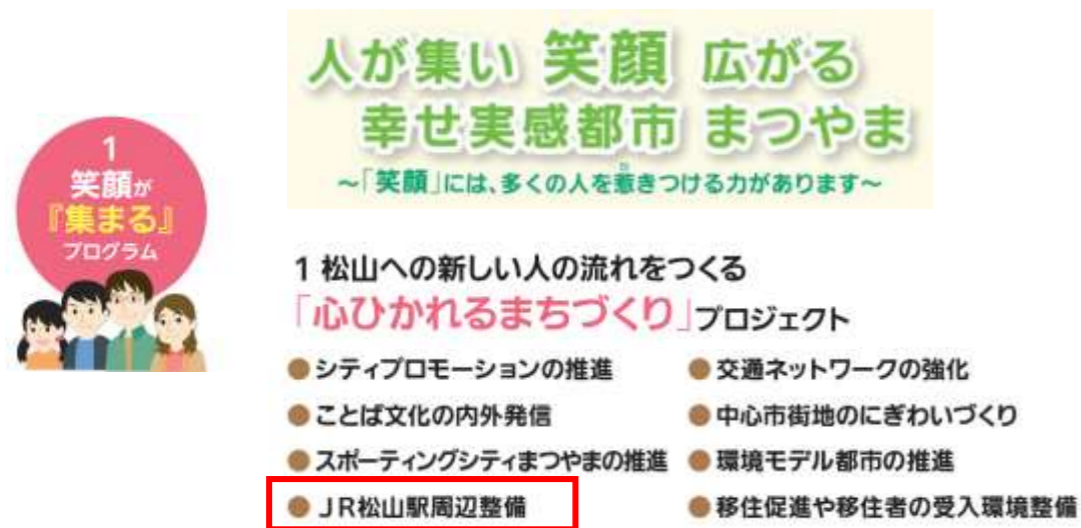
図 駅前広場施設配置図

## 4. 上位・関連計画

### (1) 上位計画

#### ① 第6次松山市総合計画（後期基本計画）（H30.3）

・笑顔が「集まる」プログラムの重点事業として位置付けられている。



**1 笑顔が『集まる』プログラム**

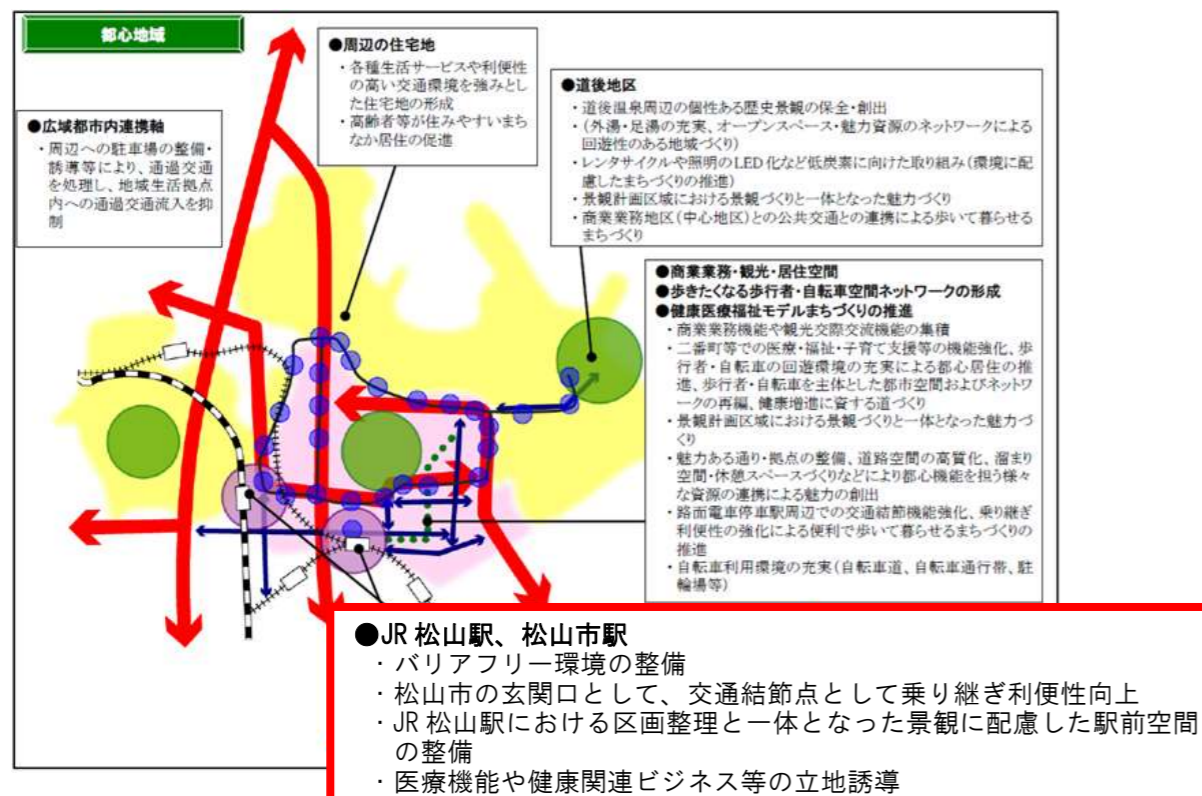
**人が集い 笑顔 広がる 幸せ実感都市 まつやま**  
～「笑顔」には、多くの人を惹きつける力があります～

**1 松山への新しい人の流れをつくる「心ひかれるまちづくり」プロジェクト**

- シティプロモーションの推進
- ことば文化の内外発信
- スポーティングシティまつやまの推進
- **JR松山駅周辺整備**
- 交通ネットワークの強化
- 中心市街地のにぎわいづくり
- 環境モデル都市の推進
- 移住促進や移住者の受入環境整備

#### ② 松山市都市計画マスタープラン（H23.3）

・都心地域の中で、広域交通拠点として位置付けられている。



**● JR 松山駅、松山市駅**

- ・ バリアフリー環境の整備
- ・ 松山市の玄関口として、交通結節点として乗り継ぎ利便性向上
- ・ JR松山駅における区画整理と一体となった景観に配慮した駅前空間の整備
- ・ 医療機能や健康関連ビジネス等の立地誘導

#### ③ 松山市立地適正化計画（H29.3）

・都心地区の中で、都市機能誘導区域として位置付けられている。



都市機能誘導区域…都市再生を図るため、医療施設、福祉施設、商業施設などの都市機能増進施設の立地を誘導すべき区域。松山市立地適正化計画では、公共交通の利用圏を基本とし、都心拠点では、JR松山駅を中心に半径700m圏等の範囲が設定されている。

(2) 関連まちづくり計画

① 松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン (H29. 7)

・松山駅笑顔あふれるまちづくり推進協議会で検討し策定されたガイドラインでは、駅前広場を核とし、歩行者が快適に回遊できるまちづくりを目指している。



基本目標③  
快適に回遊できるまちづくり  
徒歩や自転車等による回遊を促すような楽しい空間整備に取り組むとともに、交通ターミナルとしての機能向上によりまちの利用拡大を目指す。

整備方針 回遊-1 陸の玄関口にふさわしいターミナル空間の形成

方策 回遊-1-1 交通機関相互の円滑な乗り換え確保  
取り組み事項 『J R松山駅の乗り継ぎを便利にしよう』…II-18

方策 回遊-1-2 駅前広場を核とした歩行者空間の拡充  
取り組み事項 『歩行者空間にゆとりを確保しよう』…II-19

整備方針 回遊-2 回遊が楽しい空間の形成

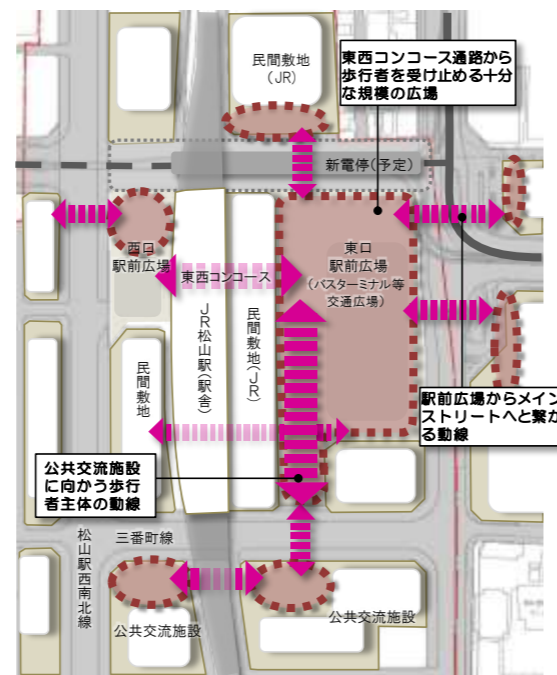
方策 回遊-2-1 回遊性を高める仕掛けづくり  
取り組み事項 『公共空間を使いこなそう』…II-20  
『歩いてとまて楽しい空間づくりをしよう』…II-21

方策 回遊-2-2 だれもが自由に快適に動けるまちの整備  
取り組み事項 『みんなにやさしい空間づくりをしよう』…II-22

整備方針 回遊-3 回遊性向上に向けた駐車・駐輪対策

方策 回遊-3-1 駐車場の適正な配置  
取り組み事項 『歩行者動線に配慮して駐車場出入口を配置しよう』…II-23

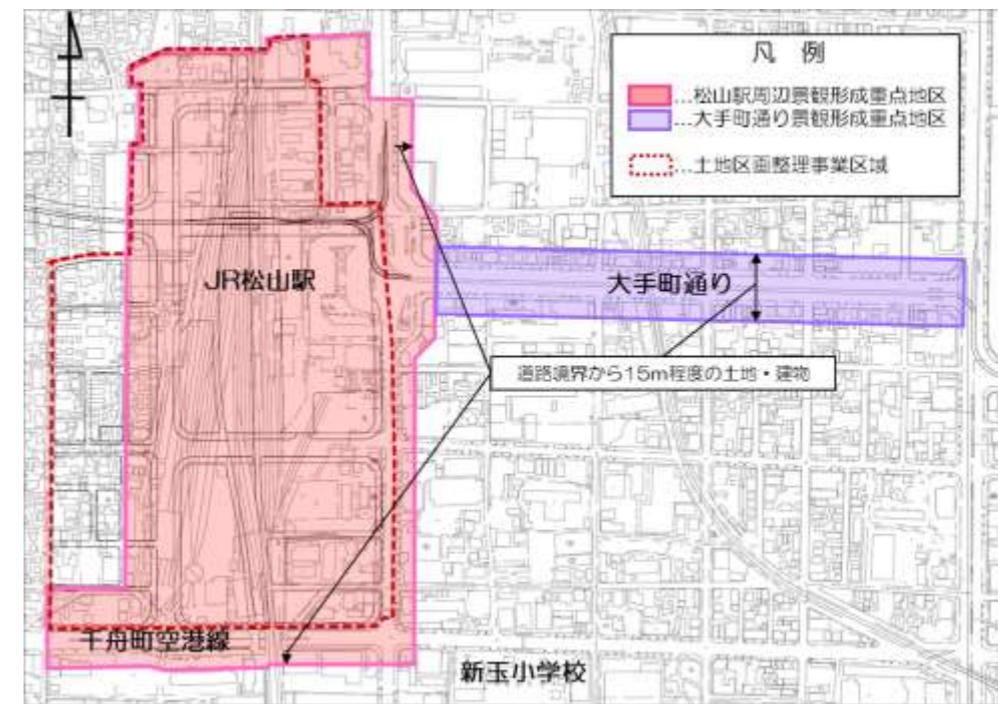
方策 回遊-3-2 駐輪場の適正な配置  
取り組み事項 『自転車動線に配慮して駐輪場を配置しよう』…II-24



歩行者のための広場と歩行者主要動線 (案)

② 松山市景観計画 (H30. 4)

・まちづくりの大きな指針であるガイドラインをより実効性のあるものとするため、景観に関する法的な担保として、松山市景観計画に「松山駅周辺景観形成重点地区」と「大手町通り景観形成重点地区」を追加。



③ 松山駅周辺地区車両基地跡地利用に関する基本構想 (H27. 5)

・松山市が取得予定の車両基地跡地の活用に関し、基本理念に「まつやま情報文化交流拠点」を掲げ、駅前立地を活かし、ホールや広場を核とした複合施設の実現をめざしている。



基本的な機能構成の概念

(ア) 日常の場としてのホール

- 発表、練習・創作・体験を日常的に行う場
- 市民の交流を促進できる、市民が利用しやすい規模・機能



(イ) 非日常の場としてのホール

- 鑑賞、発表などのハレの場
- 高い音響特性や優雅な雰囲気を持ち、非日常を体験できる「わくわく」する場

